

ぎょうむそくほう

【ダイジェスト】

No.572

2022年 4月 19日
東海旅客鉄道労働組合
<https://union.jrtu.jp>



「ハートフルカンパニービジョン ⇒2027」の取り組み推進！

Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION

経営協議会を開催

令和4年度安全対策について議論

Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION

JR東海ユニオンは、4月18日の経営協議会において「令和4年度安全対策の推進」について会社から説明を受け、労使の最重要課題である「安全」に係わる議論を展開した。

令和3年度を振り返ると、世間の信頼を大きく失墜するような重大事象は発生せず、また社員による責任事故は会社発足以来最少となった。しかし、雷害に伴うインシデントが1件、異常運転が3件発生しており、これら一步間違えば安全を脅かす可能性のある事象について重く受け止めている。

また、労働災害に関しては、中央新幹線瀬戸トンネルで死亡災害が発生した。鉄道部門においては死亡災害は発生しなかったものの、四大災害が感電1件、墜転落6件、交通事故3件、待避不良7件と発生しており、件数は社員・関係会社いずれも過去10年で最多と看過できない事態にある。

なお、昨年度の事象の主な原因である「ルール未遵守」や「確認不足」、「リスク排除不足」を踏まえ、「令和4年度運転事故防止及び労働災害防止重点実施事項」が設定されていることを確認した。

JR東海ユニオンは、「UNION FUTURE ⇒2027」に掲げる運動の柱「安全の確立」に向け、引き続きJR東海で働く全ての仲間の「死亡事故・重大事故ゼロ」実現のために不断に取り組んでいく。

◆令和3年度 鉄道運転事故等及び労働災害の発生状況

○鉄道運転事故：25件（+6件）

○輸送障害・運転阻害：3,981件（+67件）

○インシデント：1件（+1件）

✓飯田線において雷害による「施設障害（規制区間の速度超過）」が1件発生

○異常運転：3件（▲1件）

✓新幹線運転士離席、飯田線特殊信号発行機見落とし、高山線私用携帯電話使用が発生

○労働災害：社員21件（+10件）、関係会社89件（+26件）※熱中症除く

※議論内容の詳細については、後日発行の「ぎょうむそくほう」をご確認ください。